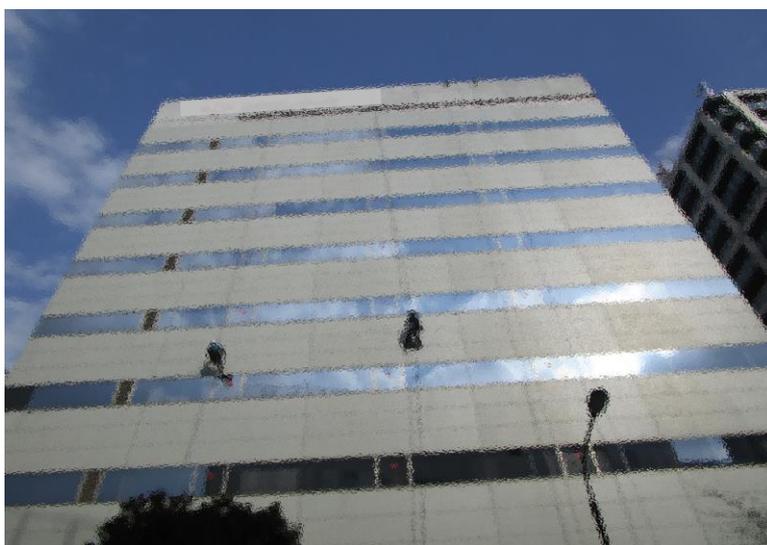


外壁調査(直接打診調査)報告書



平成 28年 4月

関電ファシリティーズ 株式会社

目 次

1. 調査概要

2. 調査結果

1. 調査概要

対象物件	
住所	
天候	2016年 3月 20日: 晴
現地調査日時	2016年 3月 20日: 晴
現地調査日気温	2016年 3月 20日 最高気温 19℃ 最低気温: 11℃
調査受託会社	関電ファシリティーズ 株式会社 担当者 井上 喜範 神志那 勇氣 住所 東京都品川区大井1-14-3 K-3ビル4階 TEL 03-6429-4113
調査受託会社	株式会社 サーブ 担当者 高田 充 住所 神奈川県横浜市鶴見区市場大和町 1-11 大和ビル 1階 TEL 045-505-5306
調査実施会社	株式会社 環境セラステクノ 担当者 上野 達也 住所 東京都杉並区西荻窪 2-29-7 TEL 03-3967-5212
解析実施会社	株式会社 建物病院 担当者 松代 勝典 住所 東京都千代田区神田美土代町 11番地 アワジビル3階 TEL 03-3518-9740
調査機器	外壁作業用ブランコ、テストハンマー、他
調査方法	屋上又は建物上階の丸環等に調査用ブランコのロープ等の安全装置等を堅結し、調査員が上階よりぶら下がり、打診用テストハンマーにて外壁を打診、打撃音により異常の有無を確認する。

2. 調査結果

- 2-1. 調査結果・考察
- 2-2. 打診プロット図及び面積集計表

1. 調査結果・考察

今回の直接打診調査による外壁調査結果を北西南東の各面に分け、調査観察結果を考察致します。総じて当建物は現時点では欠陥の非常に少ない健全な建物と考えられます。（なお外壁モルタル・タイル等の剥離落下につながるような浮きの面積は通常1.0㎡以上と考えます。）

1. 北面 調査ではごく僅かなタイル部分の浮き、及び小さなクラック(巾 0.1～0.2mm)は観察されてはおりますが、現時点では問題ないと思われます。ただいずれも2階部分にシールの劣化箇所2箇所、及びタイルの目地のハガレ部分が見受けられますので、緊急性を要するものではありませんが、機会を見て補修をご検討下さい。
2. 西面 上記北面同様、一部を除きタイルの浮き、クラックは現時点では問題ないと考えられます。ただ③～④通り間2階のクラックは当建物としてはやや大きい(巾0.3mm)とも思われますので、早めの対策・補修をご検討下さい。なお、3、4階の欠損部分(タイルの欠け等)も上記同様、補修を並行されるよう御検討下さい。
3. 南面 調査ではごく僅かなタイル部分の小さなクラック(巾 0.1～0.2mm)は観察されてはおりますが、現時点では問題ないと思われます。
4. 東面 この面に関しても、全般的には大きな問題はないと思われますが、3、5階のクラックはタイルの欠損(欠け等)も見られます。他面の補修を行う時期に外観上からも補修を行う事を御計画下さい。又凶面の9F部分正面展開図にて、5箇所の小さなクラックが比較的せまい間隔で観察されております。補修の緊急性はないものの、他の箇所の補修を行う時に合わせ、対処を御計画下さい。

以上ですが、当建物は現時点では殆ど外壁部分には特記すべき欠陥はないとは言え、共通して言える事ですが、各面共に今後将来的には建物への大きな衝撃や地震等で状況も変化する事もあり得ますので、これからも日常観察(経過観察)を続け、新たな異常の発生はないかは、常にご確認下さい。